

## 第32回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム プログラム

10月24日(金)

《第1会場：ホールA》

09:00~10:30

シンポジウム1「造血幹細胞移植におけるチーム医療—駒込病院の実際—」

座長：土岐典子（がん・感染症センター都立駒込病院血液内科）

S1-1：造血幹細胞移植後の非再発死亡を減らすために～チーム医療～医師の立場から  
土岐典子（がん・感染症センター都立駒込病院血液内科）

S1-2：多職種で支える造血幹細胞移植～看護師の視点から考える切れ目のない支援～  
上杉史世（東京都立駒込病院看護部血液内科）

S1-3：造血幹細胞移植における造血細胞移植コーディネーター（HCTC：Hematopoietic Cell Transplant Coordinator）の役割  
小瀧美加（がん・感染症センター都立駒込病院血液内科）

11:00~12:00

教育講演「多発性骨髄腫の治療の進歩 CAR-T療法の良好な連携に向けて」

座長：黒澤修兵（がん・感染症センター都立駒込病院）

演者：堺田恵美子（千葉大学医学部附属病院血液内科）

12:10~13:10

共催ランチョンセミナー1 共催：シスメックス株式会社

「骨髄検査の現状と将来展望」

座長：長村登紀子（東京大学医科学研究所附属病院セルプロセッシング・輸血部/検査部）

LS1-1：白血病診断における骨髄検査と血液検査技師の役割  
常名政弘（東京大学医学部附属病院検査部）

LS1-2：移植骨髄液の有核細胞数測定  
原口京子（がん・感染症センター都立駒込病院）

13:20~14:50

共催シンポジウム1 共催：ギリアド・サイエンズ株式会社

「CAR T細胞療法の最適化の取り組み」

座長：奥山美樹（千葉県赤十字血液センター）

SS1-1：CAR T細胞療法の最適化の取り組み～運用編～  
古村恵理（名古屋大学医学部附属病院輸血部）

SS1-2：CAR T細胞療法の最適化の取り組み～治療編～  
梶 大介（虎の門病院血液内科）

SS1-3：CAR T細胞療法の最適化の取り組み～治療連携編～  
甲田祐也（慶應義塾大学血液内科）

15:00~16:30

共催シンポジウム2 共催：中外製薬株式会社

「希少疾患における最新の治療戦略～PNHと血友病～」

座長：小川吉明（東海大学医学部血液・腫瘍内科）

藤原実名美（東北大学病院輸血・細胞治療部）

SS2-1：PNH診療におけるSDMのありかた  
鎌田浩稔（北里大学医学部血液内科学）

SS2-2: 血友病 A 治療におけるヘムライブラのオーバービュー  
萩原 剛 (荻窪病院血液凝固科)

16:40~18:10

共催シンポジウム 3 共催: オーツ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

「2025 年時代の輸血医療を支える技師力とは? ~スペシャリストの進化と次世代育成戦略~」

座長: 加藤栄史 (福友病院介護医療院/愛知医科大学)

SS3-1: 輸血医療を取り巻く環境変化

国分寺晃 (広島国際大学大学院医療科学研究科/保健医療学部医療技術学科)

SS3-2: 変化する輸血医療を支える技師力~2035 年問題に向けた育成と戦略

松浦秀哲 (藤田医科大学医療科学部/藤田医科大学病院輸血部)

SS3-3: これからの輸血検査技師に求められるスキルセット

原 順一 (山梨大学医学部附属病院検査部輸血細胞治療部)

《第 2 会場: ホール B》

12:10~13:10

共催ランチョンセミナー 2 共催: ファイザー株式会社

「血友病治療の新たな治療戦略 ~ヒムペブジの可能性~」

座長: 長尾 梓 (関西医科大学内科学第一講座)

演者: 鈴木伸明 (名古屋大学医学部附属病院輸血部)

13:20~14:50

シンポジウム 2 「災害における輸血療法」

座長: 藤田 浩 (東京都立墨東病院輸血科)

松崎浩史 (日本赤十字社九州ブロック血液センター)

S2-1: 災害時の血液供給

鶴間和幸 (日本赤十字社血液事業本部)

S2-2: 災害時の医療機関における輸血トリアージ

長井一浩 (独立行政法人国立病院機構長崎医療センター臨床検査科)

S2-3: 「災害時の血液製剤融通」について

宮園卓宜 (慈愛会今村総合病院血液内科/輸血管理室)

S2-4: 離島への血液供給における想定可能な非常事態への対応 ATR を用いた災害対応事前準備策 (臨時 ATR)

竹原哲彦 (鹿児島県赤十字血液センター)

S2-5: ヘリコプター, ドクターカーの病院前救護における輸血療法の実際と災害医療への応用可能性

城川雅光 (東京都立広尾病院総合救急診療科)

S2-6: eVTOL 固定翼ドローンによる血液搬送とフェーズフリー運用への展開

高岡捷人 (ANA ホールディングス株式会社未来創造室モビリティ事業創造部ドローン事業チーム)

15:00~16:30

看護師ブラッシュアップセミナー

座長: 北澤淳一 (青森県立中央病院)

BU-1: 輸血に関する最新の情報について

平安山知子 (九州大学病院遺伝子・細胞療法部)

BU-2: 在宅輸血について

大橋晃太 (トータス往診クリニック, NPO 血液在宅ねっと)

BU-3: 国際輸血学会について

池田和彦 (福島県立医科大学医学部輸血・移植免疫学講座, 日本輸血・細胞治療学会国際委員会委員長)

10月25日(土)

《第1会場：ホールA》

09:00~10:30

認定輸血検査技師更新必須講座「輸血の臨床—輸血の実際、どこまで知っていますか？」

座長：佐久間香枝（東京都立駒込病院輸血・細胞治療科）

森山昌彦（多摩南部地域病院）

認定-1：医師の立場から

藤田 浩（地方独立行政法人都立病院法人機構東京都立墨東病院輸血科）

認定-2：看護師の立場から

海老根香（地方独立行政法人都立病院法人機構東京都立墨東病院看護部）

認定-3：臨床検査技師の立場から

白木真理（藤田医科大学病院輸血部）

10:40~11:40

特別講演「iPS細胞戦略：人工血小板の出口シーズ提案」

座長：奥山美樹（千葉県赤十字血液センター）

演者：江藤浩之（京都大学 iPS 細胞研究所）

12:20~13:20

共催ランチョンセミナー3 共催：レコルダティ・レア・ディジーズ・ジャパン株式会社

「補体関連疾患 寒冷凝集素症の診断と治療」

座長：岡崎 仁（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

LS3-1：寒冷凝集素症（CAD）の疫学・病態と新規治療

小野寺晃一（東北大学病院血液内科）

LS3-2：寒冷凝集素症の病態・診断・治療法

豊崎誠子（東海大学医学部内科学系血液腫瘍内科，東海大学医学部付属病院中央診療部輸血室）

13:30~15:00

シンポジウム3「大量出血患者への輸血治療の実際と課題」

座長：山本晃士（愛知県赤十字血液センター）

S3-1：術中大量出血症例における治療の実際

香取信之（東京慈恵会医科大学麻酔科学講座）

S3-2：産科大量出血に対する輸血治療の実際と課題

松永茂剛（埼玉医大総合医療センター総合周産期母子医療センター）

15:10~16:40

共催シンポジウム4 共催：日本赤十字社

「輸血医療における医療機関，血液センター，学会の連携—交わる視点・つながる現場—」

座長：藤原慎一郎（自治医科大学附属病院）

奥田 誠（日本赤十字社血液事業本部）

SS4-1：医療機関と血液センターの協力による輸血体制の最適化に向けて

名倉 豊（東京大学医学部附属病院輸血部）

SS4-2：安全な輸血医療に向けた血液センターにおけるMR活動

平塚紘大（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

SS4-3：輸血医療における多職種・多機関連携の広がり～学会をハブ・プラットフォームとして～

河野武弘（大阪医科薬科大学病院輸血室）

《第2会場：ホールB》

09：00～10：30

シンポジウム4 「[アフェレーシスナースの存在意義]—病院・血液センター・臨床技術職からの多職種ディスカッション—」

座長：猪越ひろむ（千葉大学医学部附属病院看護部放射線・中央診療施設）

S4-1：アフェレーシスナースとして、病棟からの活動

横手恵子（群馬大学医学部附属病院看護部）

S4-2：血液センターのアフェレーシスにおける看護師の取り組みについて

青島友子（静岡県赤十字血液センター）

ディスカッサント：

杉本達哉（東海大学医学部附属八王子病院）

松岡 諒（自治医科大学附属病院臨床工学部）

10：40～12：10

共催シンポジウム5 共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

「CAR-T 細胞療法の“いま”」

座長：正本庸介（東京大学医学部附属病院血液・腫瘍内科）

SS5-1：CAR-T 細胞療法の現在地と未来：LBCL 治療における実臨床からの示唆

下山 達（東京都立病院機構がん・感染症センター都立駒込病院腫瘍内科）

SS5-2：トリプルクラス使用歴のある多発性骨髄腫に対する CAR-T 療法の最適化を考える

三村尚也（千葉大学医学部附属病院輸血・細胞療法部）

SS5-3：最良の治療効果を得るための CAR-T 運用を考える

藤井伸治（岡山大学病院輸血・細胞療法部）

12：20～13：20

共催ランチョンセミナー4 共催：テルモ BCT 株式会社

「世界の血小板輸血」

座長：谷 慶彦（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

演者：大戸 斉（福島県立医科大学）

13：30～15：00

細胞治療認定管理士制度指定講習会

座長：長村登紀子（東京大学医科学研究所附属病院セルプロセッシング・輸血部）

米谷 昇（神戸市立医療センター中央市民病院細胞治療センター）

細胞-1：iPS 細胞を用いたパーキンソン病に対する細胞移植治療

森実飛鳥（神戸市立医療センター中央市民病院臨床研究推進センター再生医療研究部）

細胞-2：眼科領域における細胞を用いた再生医療等製品について

宮井尊史（東京大学眼科・角膜移植部・細胞療法センター）